

大阪経済圏の発展に向けて

～母都市としての役割を果たすための新たな提案～

大阪市

平成22年2月

大阪経済圏の発展に向けて

～母都市としての役割を果たすための新たな提案～

はじめに

大阪市は、これまでから関西の母都市としての役割を意識した取組みを進めてきました。大阪経済、ひいては関西の発展に向けた役割を果たすため、大阪駅北地区や臨海部、水都大阪のまちづくりなどに取り組んできているところですが、さらなる大阪経済圏の発展に向け、新たな提案を行います。内容については、今後、関係者と深めていく段階のものを含んでいますが、広く議論を起こしていければと考えています。

目 次

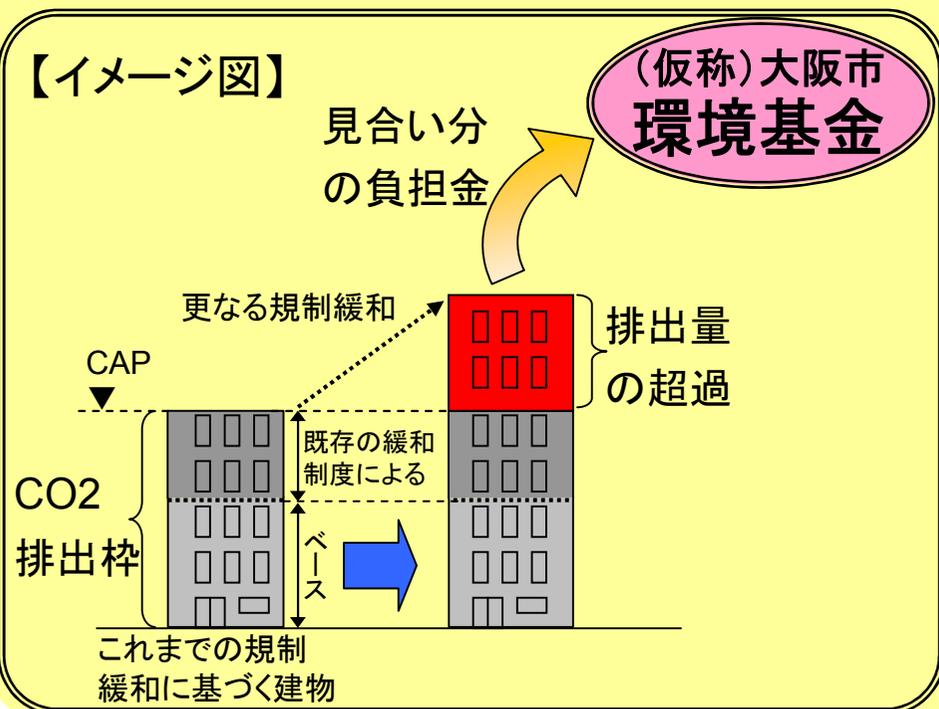
- ①新たな環境配慮への取組み ～環境先進都市として～
- ②アジア環境技術国際標準化支援センター(仮称)の大阪への設置
- ③広域物流インフラの一体的運営
 - 1)大阪港埠頭公社の株式会社化と阪神港の一体的運営
 - 2)高速道路網の強化・充実
- ④関西国際空港の上下分離・統合型経営

①新たな環境配慮への取組み ～環境先進都市として～

民間都市開発を推進しながら、都市全体への環境配慮に繋げていく

新たな取組みスキームの提案

- 都市再生緊急整備地域等、日本の再生にとって重要なエリアにおいて建物にCO2排出枠を設定
- CO2排出枠を上回る場合、見合い分の負担金を(仮称)大阪市環境基金として納付



市内の密集市街地で環境基金の活用によりCO2排出を削減する

- 地域冷暖房システムの導入を促進することにより、エネルギー供給施設を集約
- 建替え促進を補助することにより、日照や通風採光の改善、断熱性能を高める



- 公園等への緑化を促進

etc



②アジア環境技術国際標準化支援センター(仮称)の大阪への設置

環境技術での国際競争の激化に伴う国際標準化活動の重要性の高まり

日本のもつ環境技術でのアドバンテージを確立し、
今後の世界展開の基盤を構築するため国際標準の獲得が必須

欧米中心の標準化に対抗

国際市場におけるアジアの
重要性の高まり

大阪・関西のポテンシャルを活用
環境分野での世界企業及び
大学・研究機関の集積・立地 等

大阪駅北地区における(仮称)オープ
ンイノベーションセンターの準備開始

アジア重視の国際標準化支援センターを
大阪に設置

よりよい規格づくりによって
アジア諸国の発展に寄与

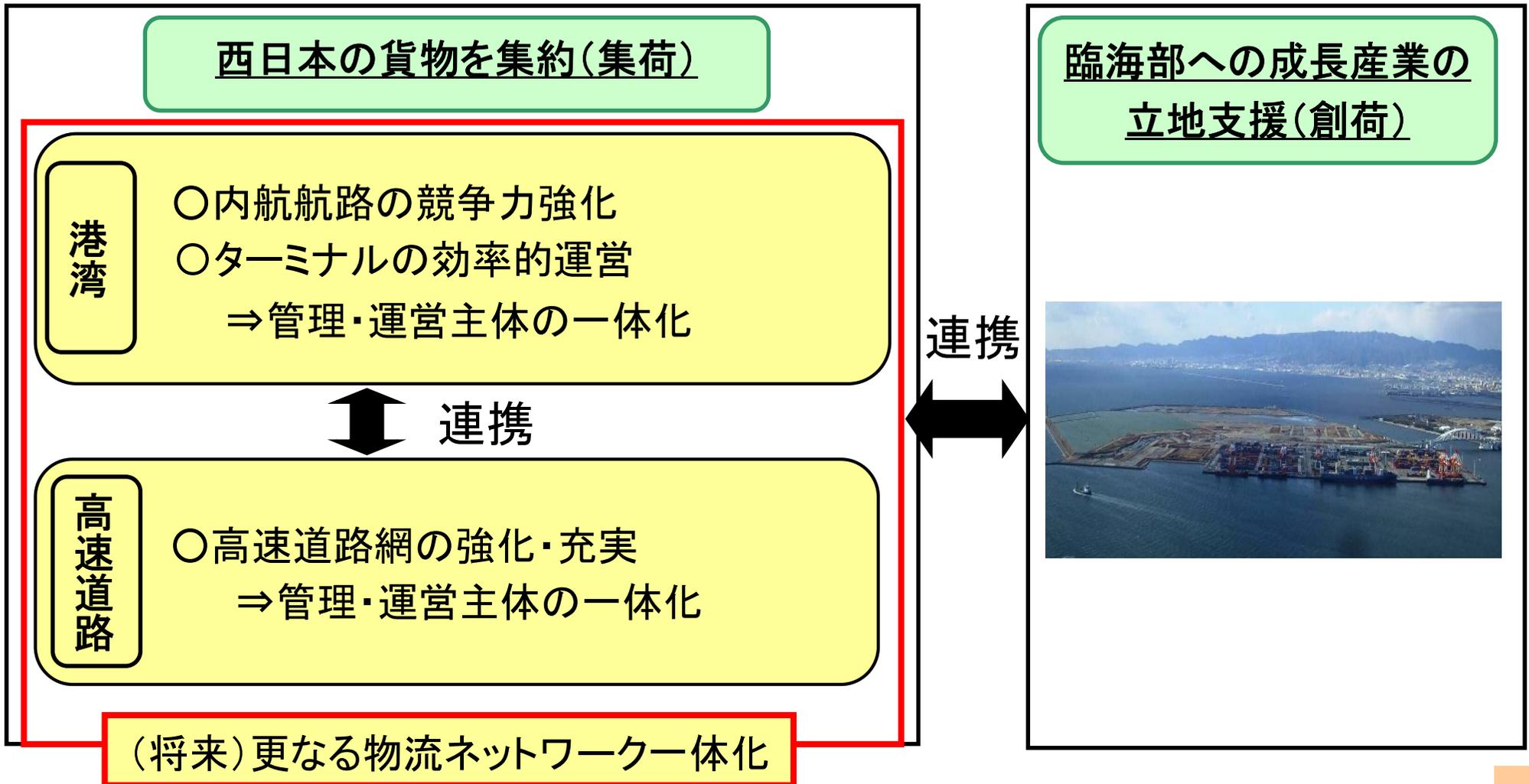
③ 広域物流インフラの一体的運営

連携・相乗効果

広域物流ネットワークの充実



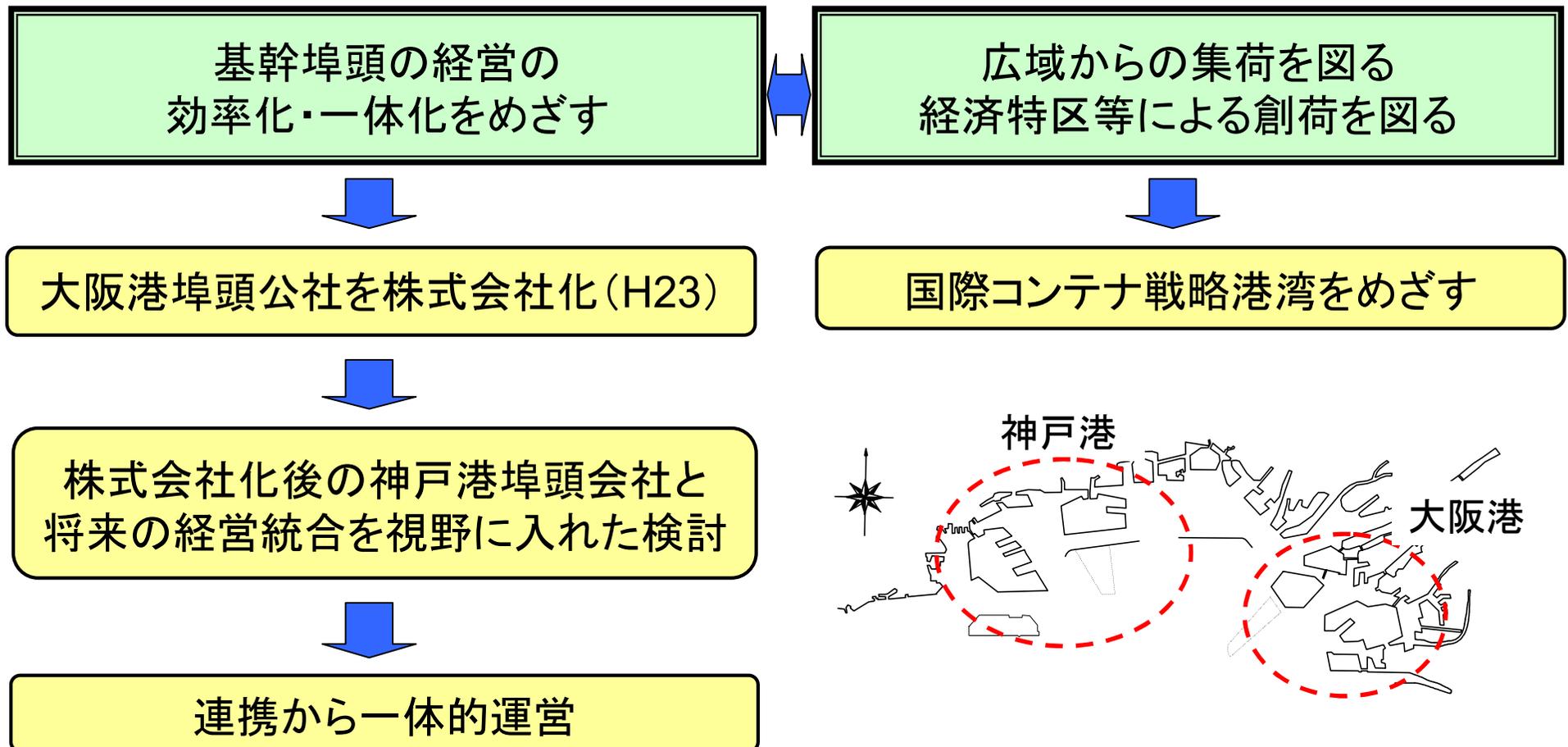
産業集積の高度化



③広域物流インフラの一体的運営

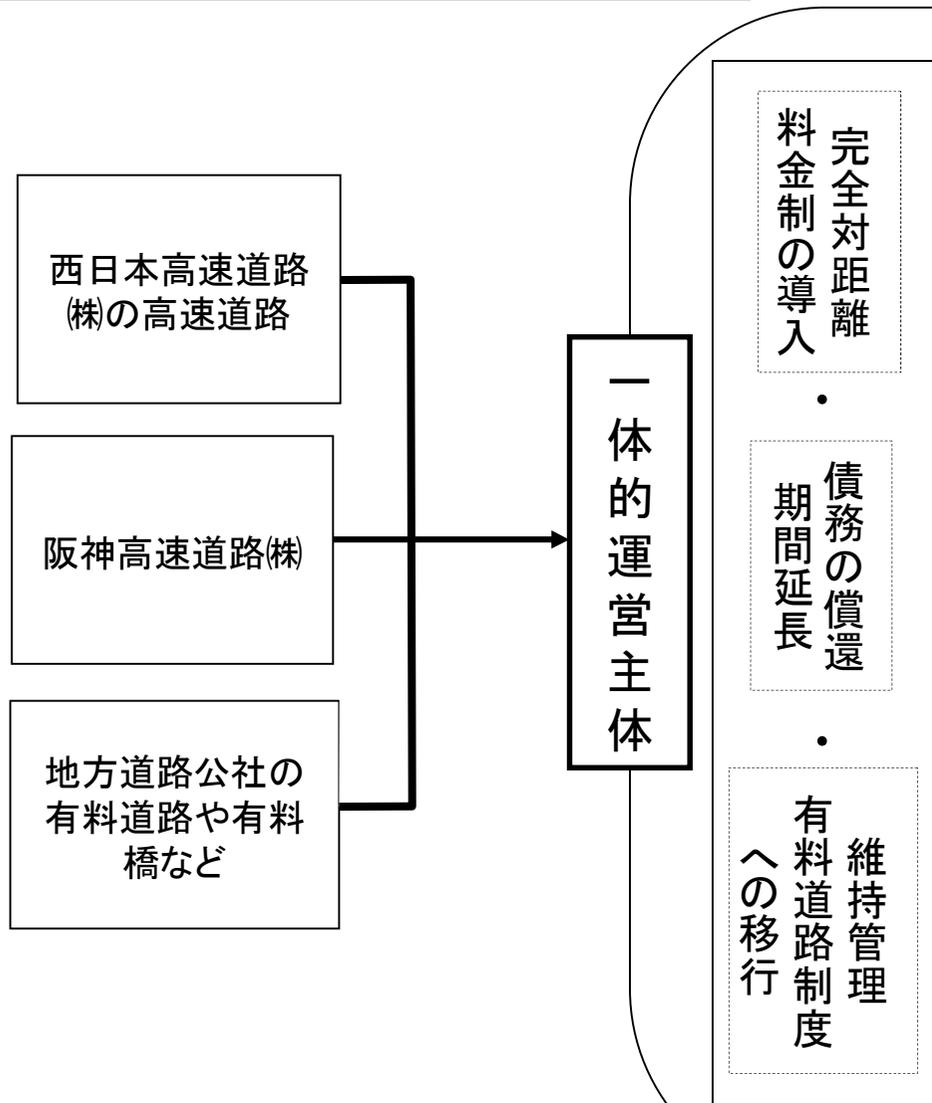
1) 大阪港埠頭公社の株式会社化と阪神港の一体的運営

阪神港の高い国際物流機能を更に強化



③広域物流インフラの一体的運営

2) 高速道路網の強化・充実



一体的運営イメージ

- 乗継利用による初乗り課金の解消など、利用距離に応じた公平な料金設定が可能
- 料金の引下げなどの弾力的な対応が可能
- 償還期間を45年から60年に延長することにより、大阪の活性化にとって必要な新規路線の整備
- 将来にわたって高速道路ネットワークを健全に維持していくために、債務の償還期間終了後も料金による維持管理を継続

④ 関空国際空港の上下分離・統合型経営

関空をフル活用し、
人、モノの交流を活発化する。

関空と成田の両会社の土地と負債を分離
成田の株式売却益で負債を大幅に圧縮

空港運営の自由度が高まる

将来的には……

